



2025 年 8 月 14 日

各 位

会 社 名 A e r o E d g e 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長 兼 執行役員 CEO 森西 淳
 (コード番号：7409 東証グロース市場)
問 合 せ 先 取締役 兼 執行役員 CFO 今西 貴士
 (TEL 0284-22-3125)

LEAP エンジン向けチタンアルミブレード用新材料の供給並びに マーケットシェア拡大のお知らせ

当社は、2025 年 8 月 14 日の取締役会において、仏 Safran Aircraft Engines 社（以下、仏 SAFRAN 社）と、LEAP エンジン向けチタンアルミ製低圧タービンブレード（以下、チタンアルミブレード）の材料であるチタンアルミ合金（以下、新材料）の供給並びにマーケットシェアの拡大に関する契約（以下、本契約）を締結することについて決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

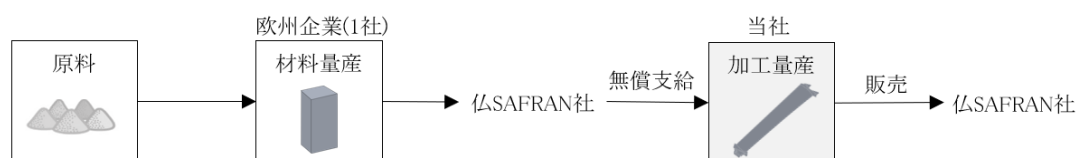
1. 本契約締結の目的及び背景

当社は、商業用航空機として世界で最も受注残がある仏 Airbus 社製 A320neo ファミリー及び米 Boeing 社製 737MAX シリーズ用の航空機エンジン「LEAP」に搭載されるチタンアルミブレードを量産加工し、仏 SAFRAN 社に販売しております。

当社は、現在、仏 SAFRAN 社から無償支給されたチタンアルミブレードの材料であるチタンアルミ合金を、チタンアルミブレードに加工し、仏 SAFRAN 社に納入しております。一方、当該材料は航空機需要が拡大する中で、欧州企業 1 社のみに生産を依存していることから、供給リスクを抱えておりました。このような状況を踏まえ、当社では当該リスクへの対応策として、材料供給から加工までを担う垂直統合体制の構築と、収益拡大を目指し、数年にわたり新材料の開発に取り組んでまいりました。その結果、新材料の量産化への目途が立ち、この度、仏 SAFRAN 社と新材料の供給、並びにマーケットシェア（LEAP エンジンの生産に必要なチタンアルミブレードの供給シェア）の拡大に関する契約を締結することとなったものであります。

LEAP エンジン用チタンアルミブレードにおいて、材料から加工まで一貫で量産する企業は、当社が世界で初めてであり、チタンアルミブレードサプライヤーとして確固たる地位を確立することが可能になると考えております。

現在



新材料供給後



(仕入から販売までのフロー図)

2. 新材料の概要

新材料は、チタンやアルミ等の原料を鋳造することで生産したチタンアルミ合金であり、LEAP エンジン向けの材料となります。新材料は、現行の材料と比較して完成形状に近いことから、原料の使用量を削減することができ、原料コストを抑えるとともに、その後の加工コストも削減することが可能になります。また、環境面においても、日本国内で材料生産を行うことにより、従来よりも材料の輸送距離を削減し、サプライチェーン全体での CO₂ 削減が見込めます。材料を自社で量産することにより、材料供給の断絶リスクを防止するとともに、材料供給量の変動に左右されることのない、受注量に応じた柔軟かつ効率的な生産体制の実現を目指します。なお、新材料は、技術的な評価を仏 SAFRAN 社と共に数年にわたり実施し、LEAP エンジンに搭載可能であることが技術的に確認されています。今後、量産設備投資を行い、仏 SAFRAN 社から工程認証を受けたのち、量産を開始してまいります。

3. 本契約の概要

当社が仏 SAFRAN 社と締結している、チタンアルミブレードの加工に関する現契約を、新材料供給を含めた契約内容に更新いたします。現契約からの主な変更点は下記の通りとなります。

	現契約	本契約（更新内容）
契約内容	LEAP エンジン向けチタンアルミ製低圧タービンプレードの販売契約（加工）	LEAP エンジン向けチタンアルミ製低圧タービンプレードの販売契約（新材料及び加工）
契約締結日	2013 年 11 月 27 日（2021 年 7 月 9 日、2024 年 10 月 3 日に一部改定）	2025 年 9 月 予定
契約期間	2013 年 6 月 1 日～2034 年 12 月 31 日	同左
マーケットシェア	40%	・2027 年 12 月まで：40% ・2028 年 1 月から：40%台後半 但し、2030 年 12 月までは新材料供給キャパシティを考慮し上限数量を設定(※)
新材料供給時期	—	・2026 年 7 月からマーケットシェアの一部を供給 ・2028 年 1 月からマーケットシェアの全部を供給
販売価格	・取引通貨は米ドル建て ・加工に相当する部分が対象 ・契約期間に渡って明示（販売年度、販売量に応じて変動） ・但し、一定の為替レートレンジを超えた場合には変動	・取引通貨は米ドル建て ・加工及び新材料に相当する部分を一体として価格設定 ・原則として契約期間に渡って同額 ・但し、一定の為替レートレンジを超えた場合には変動。また、新材料に関する原料コストが一定以上増減した場合は販売価格に反映

※ 守秘義務により詳細の公表は控えさせていただきます。

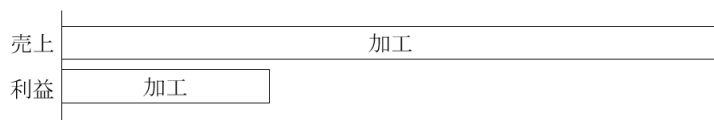
4. 本契約締結による影響

チタンアルミブレードに関する販売価格は、現在は加工に対する付加価値のみを考慮して設定されていますが、新材料供給後は、新材料及び加工の付加価値を考慮し、両者一体として設定されます。なお、マーケットシェアの拡大による販売数量の増加に加え、新材料採用による加工コストの削減を考慮して、加工部分に相当する販売価格は低減しますが、新材料に相当する販売価格が増加することにより、全体としての販売価格は増加いたします。

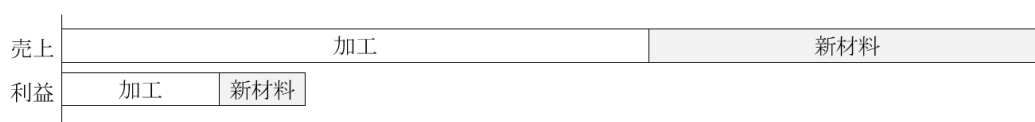
今後、新材料の量産に必要な工場や鋳造設備等に加えて、マーケットシェア拡大、及び今後の航空機需要の拡大

に対応するための加工設備の投資を進める予定です。これにより、減価償却費や人財確保等による固定費の増加が見込まれますが、新材料に対する売上、並びにマーケットシェアの拡大による販売数量の増加により、全体としての利益の拡大を目指してまいります。

現在



新材料供給後



(収益構造のイメージ図)

当社は、チタンアルミブレード並びに仏 SAFRAN 社への販売依存度が高いことを事業上の重要リスクとして認識しております。本契約により、これらの販売依存度がより高くなることが想定されますが、加工のみでなく、新材料を供給することにより、チタンアルミブレードのサプライヤーとしての当社の優位性が一層高まり、将来の他社の参入リスクを防ぐことが可能と考えております。

今後も成長が見込まれるチタンアルミブレードでの確固たる地位を確立することにより、長期的かつ安定的な事業活動の推進を目指してまいります。

5. 契約相手先の概要

(1)	名	称	Safran Aircraft Engines			
(2)	所	在	地	2, boulevard du Général Martial Valin, 75015 PARIS, FRANCE		
(3)	代表者の役職・氏名	CEO, Stéphane Cueille				
(4)	事	業	内	容	航空機エンジンの製造・販売	
(5)	設	立	年	1945 年		
(6)	株	式	上	場	ユーロネクスト・パリ上場 (SAFRAN グループ)	
(7)	上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。			
		人 的 関 係	該当事項はありません。			
		取 引 関 係	当社製品の販売において取引関係があります。			
		関連当事者への該当状況	該当事項はありません。			
(8)	当該会社 (SAFRAN グループ) の最近 3 年間の経営成績及び財政状態					
	決算期	2022 年 12 月期		2023 年 12 月期		2024 年 12 月期
	純	資	産	10, 866 百万ユーロ		12, 088 百万ユーロ
	総	資	産	46, 828 百万ユーロ		50, 468 百万ユーロ
	売	上	高	19, 035 百万ユーロ		23, 199 百万ユーロ
	営	業	利 益	1, 958 百万ユーロ		2, 655 百万ユーロ
	親会社株主に帰属する当期純利益	1, 178 百万ユーロ		2, 028 百万ユーロ		△667 百万ユーロ
	1 株当たり当期純利益	2.76 ユーロ		4.85 ユーロ		△1.60 ユーロ

6. 日程

(1) 取締役会決議日	2025年8月14日
(2) 契約締結日	2025年9月(予定)
(3) 新材料供給開始日	2026年7月(予定)

7. 今後の見通し

本契約が、2026年6月期業績に与える影響につきましては、本日「2025年6月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて公表いたしました2026年6月期の業績予想数値に織り込んでいます。

なお、今後量産に向けて設備投資を進めていく予定ですが、設備投資額につきましては、現在精査中です。今後、新たに公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上